



# アルシャイン

## 取付説明書 – 両開閉M型・H型・MW型・HW型 –


- このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


 **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

 **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号

 **ポイント** ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。  
●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※ ●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。  
●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

 **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

### <施工の前に>

#### 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 柱の施工では、「アルシャイン 柱セット」に同梱の取付説明書（D382）を一緒にお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- アルシャイン両開閉仕様は、ルールなしでの施工はできません。必ずルールと併用してご使用ください。

### <施工上のご注意>

#### 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定してください。
- 取付説明書の順番通りに組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- 伸縮門扉取付位置は水平を保ち、水勾配をつけないようにしてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によっては（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量を（体積）十分考慮してください。
- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭取ってください。

## <両開閉センターレール施工上のご注意>

### ⚠ 警告

- 両開閉センターレール仕様は、センターレールで、風や衝撃による本体の倒れ等を保持する構造になっているため、センターレール自体を地盤にしっかりと固定する必要があります。センターレールを固定する地盤は、コンクリート厚10センチメートル以上で、コンクリート内に配筋がある場所に限って施工してください。

## <両開閉フラットレール施工上のご注意>

### ⚠ 警告

- 両開閉フラットレールは、レール内にゴミや水等が溜まりやすい構造になっています。レール内の掃除が日常的に不可能な場所、および砂地・土スペース等、レール内に砂や土が流れ込みやすい条件の場所は避けて使用してください。
- 両開閉フラットレールは地中に埋設しているために、レール内に溜まった水が凍結しやすい構造になり、レール内の水の凍結により開閉が出来なくなるおそれがあります。レール内の水の凍結のおそれがある地域への使用はできませんので、ご注意ください。
- 両開閉フラットレール仕様は、フラットレールで風や衝撃による本体の倒れ等を保持する構造となっているため、フラットレール自体を地盤にしっかりと固定する必要があります。フラットレールを固定する地盤によっては、基礎部のコンクリートの量を（体積）十分考慮してください。

## ■梱包明細表

### 【1】 本体

名 称	略 図	員 数											
		M型			H型			MW型			HW型		
		470	510	550	470	510	550	470	510	550	470	510	550
本体		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
落とし棒ホルダー		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
落とし棒ホルダーキャップ		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
落とし棒		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
孔隠しシール		-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	1	2
落とし棒受けB		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
落とし棒受けA		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
【1-1】 M4×12 D8トラス小ネジ (ゆるみ止め付)		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
【1-2】 M4×6ナベセムスネジ		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

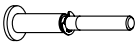



### 【2】 錠セット

### 【2】 錠セット (つづき)

名 称	略 図	員数	名 称	略 図	員数
鎌錠ケース		2	錠受けカバー1		2
鎌錠カバー		2	ツマミ (シャフトなし)		2
ハンドル掛け① (外側)		1	シリンダー角軸		2
ハンドル掛け① (内側)		1	樹脂カラー		4
ハンドル掛け② (外側)		1	シャフトカバー		4
ハンドル掛け② (内側)		1	鍵		3
ツマミ (シャフト付)		2	【2-1】 M5×12トラスネジバネ座金付		8
			【2-2】 M4×8特サラネジ		4
錠受け金具1		2	【2-3】 M4×25サラネジ		4
			【2-4】 M4×8ナベタッピンネジ		2
			取付説明書 D410	-	1
			取扱説明書 UDO75	-	1

## ■梱包明細表(つづき)

### 【3】センターシャフト

名称	略図	員数	
		両開閉センター レール用	両開閉フラット レール用
センターシャフト		1	—
両開閉フラットレール シャフト		—	1
【3-1】 M10ナット		1	1
【3-2】 M10バネ座金		1	1

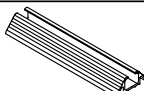
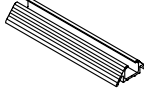
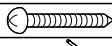
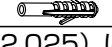
### 【4】センターシャフト取付部品A

名称	略図	員数
センターシャフト取付部品A		1

### 【5】センターシャフト取付部品B

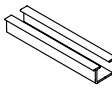
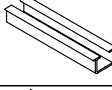
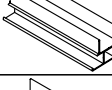
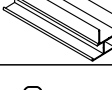

名称	略図	員数
センターシャフト取付部品B		1

### 【6】センターレール

名称	略図	員数	
		L=2,025	L=3,025
センターレール (20)		1	—
センターレール (30)		—	1
【6-1】 φ5.1×38丸木ネジ		13	13
【6-2】 S8 フィッシャープラグ		13	13

※両開閉センターレール (L=2,025) には、予備が4本入っています。

### 【7】両開閉フラットレール

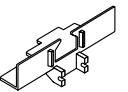


名称	略図	員数	
		L=2,025	L=3,025
両開閉フラットレール (20)		1	—
両開閉フラットレール (30)		—	1
両開閉フラットレール 埋め込み材 (20)		1	—
両開閉フラットレール 埋め込み材 (30)		—	1
【7-1】 φ5×16 ナベテクスネジ ※		13	13

※両開閉フラットレール (L=2,025) には、予備が4本入っています。

### 【8】センターレール端部部品

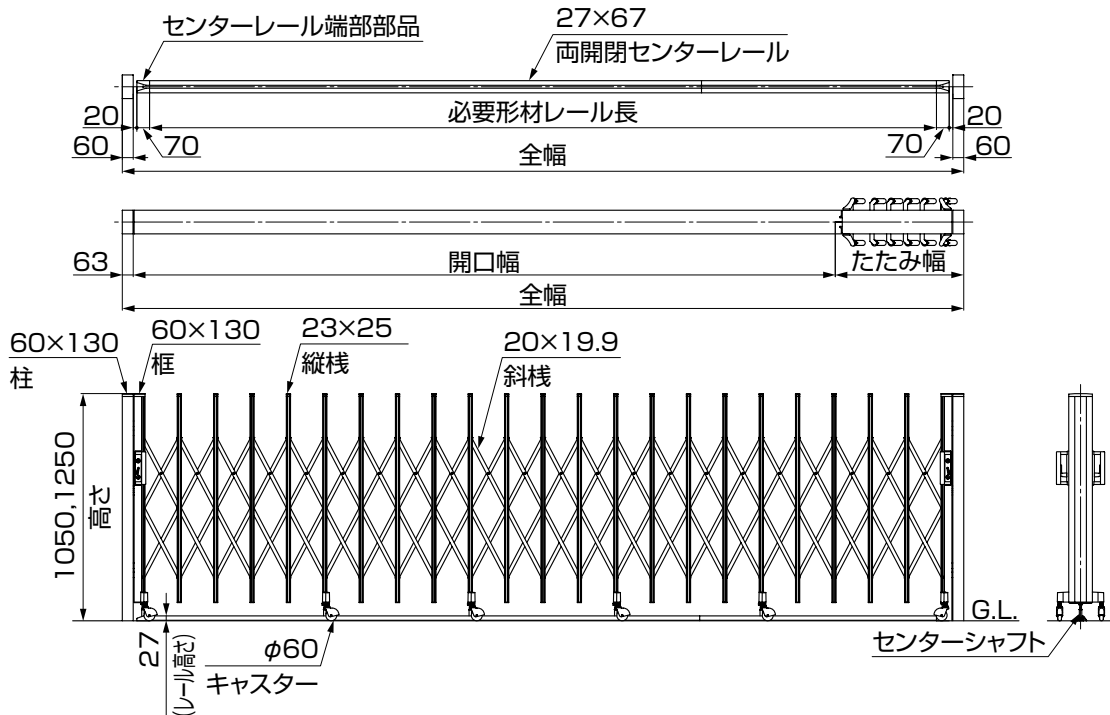
名称	略図	員数
センターレール端部部品		1
【8-1】 φ5.1×38丸木ネジ		1
【8-2】 S8 フィッシャープラグ		1

### 【9】両開閉フラットレール部品セット

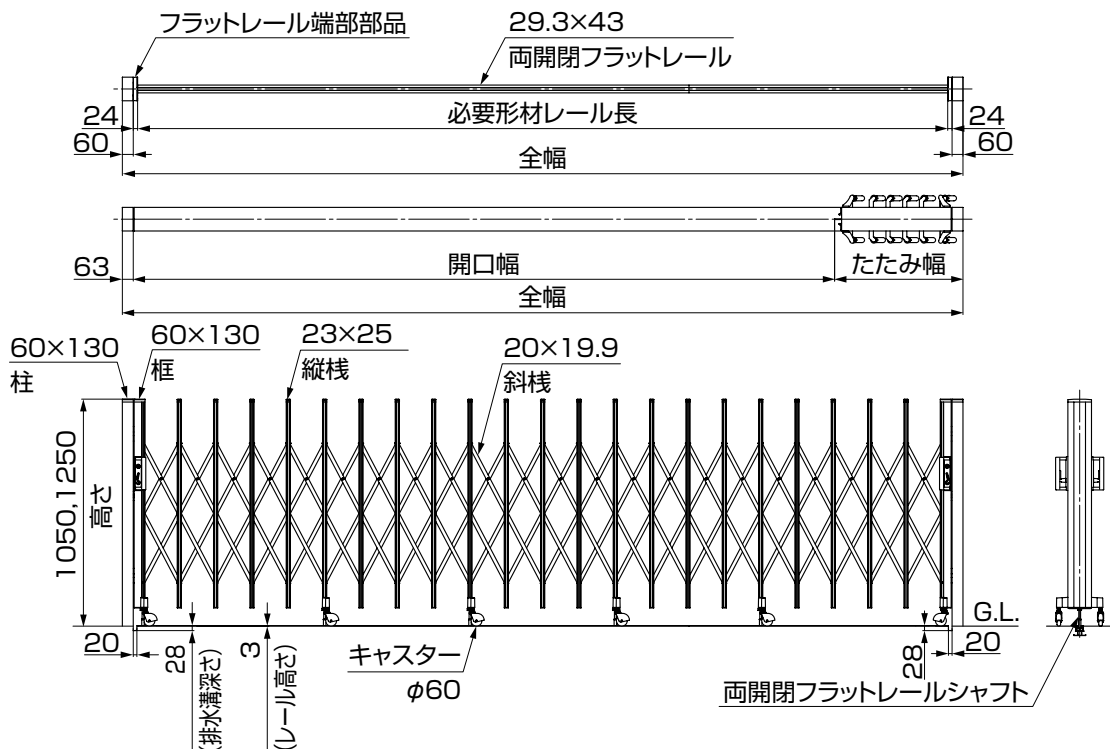
名称	略図	員数
フラットレール端部部品		2
レール連結金具		2
【9-1】 φ4×13ナベテクスネジ		8

# 1. 姿図および各部の名称

## 1-1 両開閉センターレールタイプ ※本図は両開閉M型です。



## 1-2 両開閉フラットレールタイプ ※本図は両開閉M型です。



### ポイント

- 基礎施工寸法の柱埋込み位置ほか、主要寸法は、「アルシャイン柱セット」同梱の取付説明書（D382）をお読みください。

## 2. センターシャフトの取付け

### ポイント

- センターレールシャフトは、本体の梱包内で、横にした状態で取付けると取付けが容易です。
- 本体を立てた後でもセンターシャフトの取付けは可能ですが、本体を少し持上げた状態で取付ける必要があります。
- 本体のキャスターの向きは変更できます。キャスターの向きを変更したい場合には、センターシャフト取付け前に、「6. キャスター取付け方向の変更」項をご参照のうえ、キャスター向きを変更してください。

### 2-1 両開閉センターレールタイプの場合

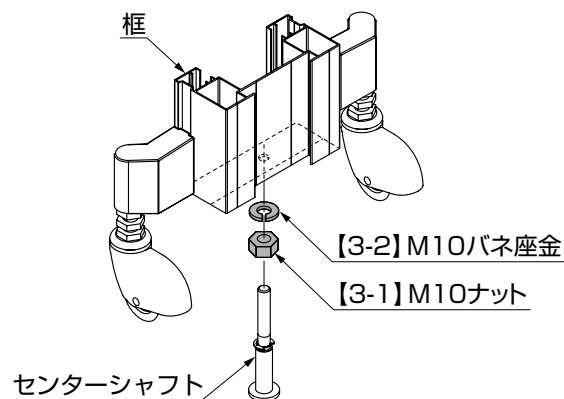


図2-1

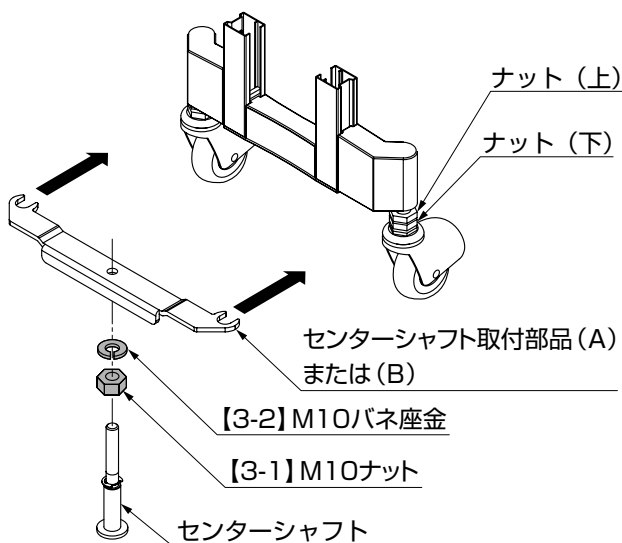


図2-2

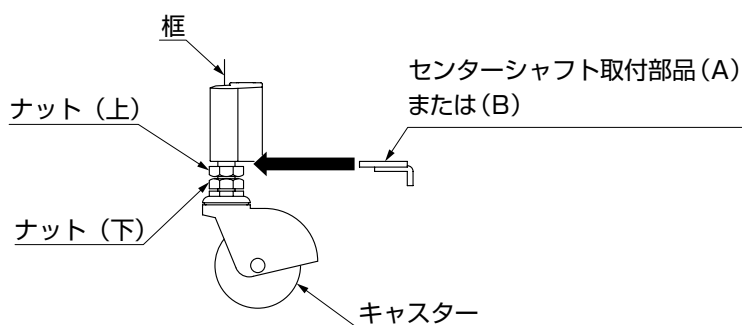


図2-3

- ① 枠の下部の「センターレール固定金具」に、【3-1】および【3-2】を組付けたセンターシャフトを仮組みしてください。

### ポイント

- 仮組みする際、センターシャフトの先端の高さが、キャスターの高さよりも低くなる位置までネジ込んでおくと、センターシャフトが地面等に引っかからず、後の作業が楽になります。

- ② 全てのキャスターの両側「ナット(上)」を下げてください。
- ③ 「センターシャフト取付部品 (A) または (B)」を「ナット(上)」の上側に挿入して、「センターシャフト取付部品」を固定してください。
- ④ 「センターシャフト取付部品」に、【3-1】および【3-2】を組付けたセンターシャフトを仮組みしてください。

## 2-2 両開閉フラットレールタイプの場合

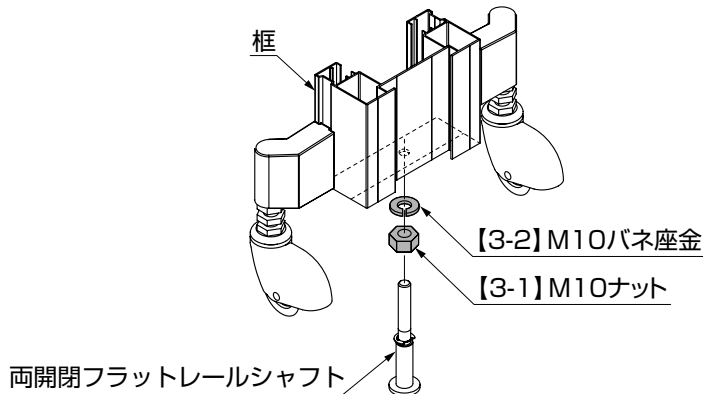


図2-4

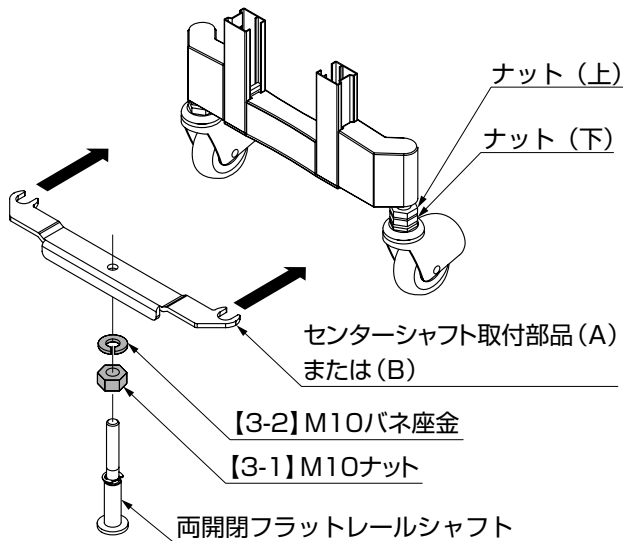


図2-5

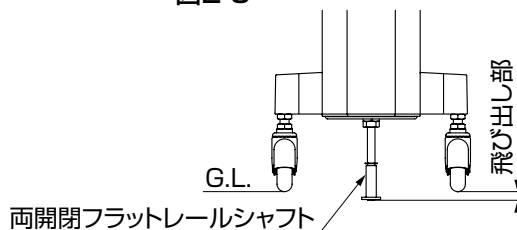


図2-6

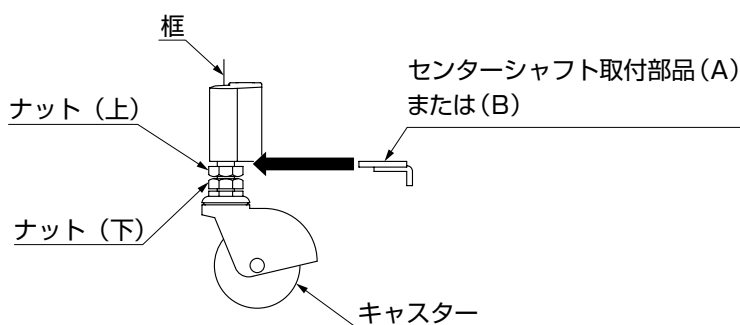


図2-7

- ① 枠の下部の「センターレール固定金具」に、【3-1】および【3-2】を組付けた両開閉フラットレールシャフトを仮組みしてください。
- ② 全てのキャスターの両側「ナット(上)」を下げてください。
- ③ 「センターシャフト取付部品(A)または(B)」を「ナット(上)」の上側に挿入して、「センターシャフト取付部品」を固定してください。
- ④ 「センターシャフト取付部品」に、【3-1】および【3-2】を組付けた両開閉フラットレールシャフトを仮組してください。

### ⚠ 注意

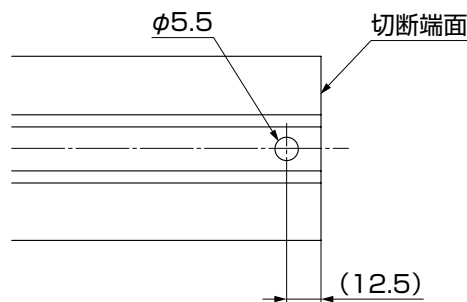
- 両開閉フラットレールシャフトは、取付けた場合、キャスターより長いいため、本体を立てると当たります。そのため、レールに組付けるまでの間は、本体を横に倒した状態にしておいてください。

### 3. レールの切断

#### 3-1 両開閉センターレールの場合

表3-1

型	呼称	全幅	両開閉センターレール組合せ				センターシャフト 必要数
			必要形材長	L=2025	L=3025	切断寸法	
M・H型	470	4627	4327	1	1	723	6
	510	5027	4727	1	1	323	7
	550	5427	5127	—	2	923	7
MW・HW型	470	4667	4367	1	1	683	7
	510	5037	4737	1	1	313	7
	550	5407	5107	—	2	943	8

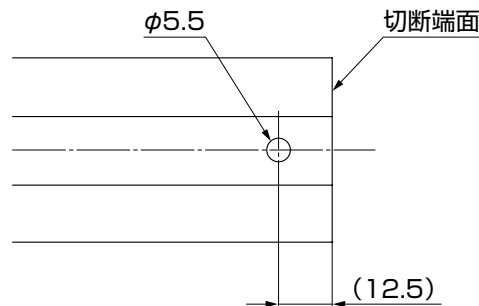


- ①表3-1を参照し、本体の型およびサイズに合わせて両開閉センターレールを切断してください。
- ②切断後、切断した側の端面から12.5mmの位置に、φ5.5の孔をあけてください。

#### 3-2 両開閉フラットレールの場合

表3-2

型	呼称	全幅	両開閉フラットレール組合せ				フラットレール用 センターシャフト必要数
			必要形材長	L=2025	L=3025	切断寸法	
M・H型	470	4627	4459	1	1	591	6
	510	5027	4859	1	1	191	7
	550	5427	5259	—	2	791	7
MW・HW型	470	4667	4499	1	1	551	7
	510	5037	4869	1	1	181	7
	550	5407	5239	—	2	811	8



- ①表3-2を参照し、本体の型およびサイズに合わせて両開閉フラットレール、および両開閉フラットレール用埋込み材を切断してください。
- ②切断後、両開閉フラットレールの切断した側の端面から12.5mmの位置に、φ5.5の孔をあけてください。



## 4. フラットレールの施工

### 4-1 両開閉フラットレール埋め込み材の施工

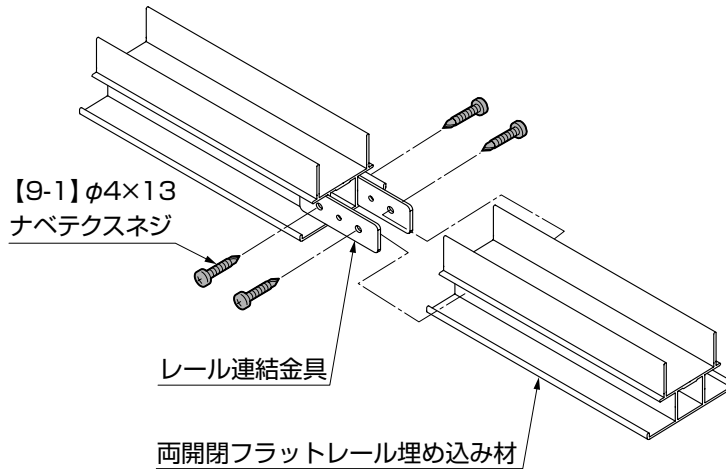


図4-1

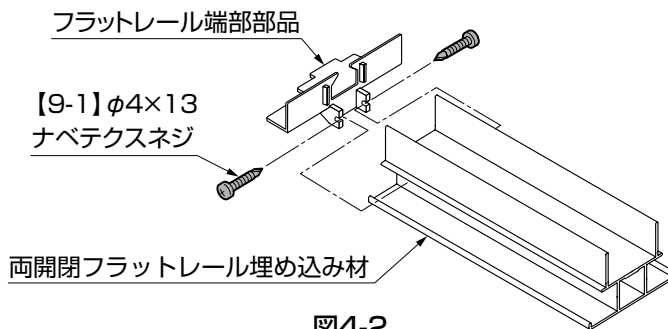


図4-2

#### ポイント

- 両開閉フラットレール埋め込み材の施工は、柱の施工と同じタイミングで行なう必要があります。柱の施工に関しては、「アルシャイン 柱セット」に同梱の取付説明書（D382）を一緒にお読みください。

- ①両開閉フラットレール埋め込み材を、レール連結金具および【9-1】で連結してください。
- ②連結した両開閉フラットレール埋め込み材の両端部に、フラットレール端部部品を【9-1】で取付けてください。

#### ポイント

- レール連結金具、およびフラットレール端部部品の固定は、コンクリートで固まるまでの仮固定用です。多少のぐらつきは、コンクリートで完全に固定できます。
- レール端部部品の固定は、左右ネジの締付けのバランスを取り、部品が片側に寄らないように調整してください。

## 4. (つづき)

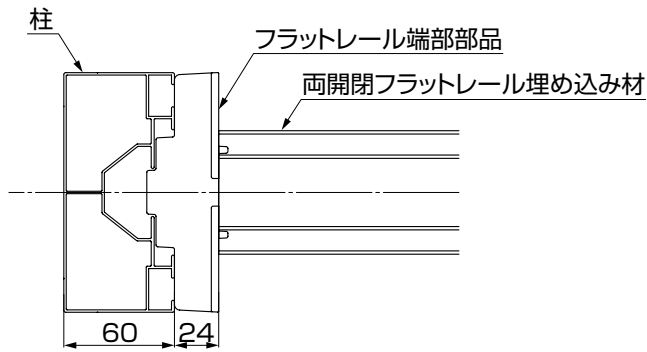


図4-3

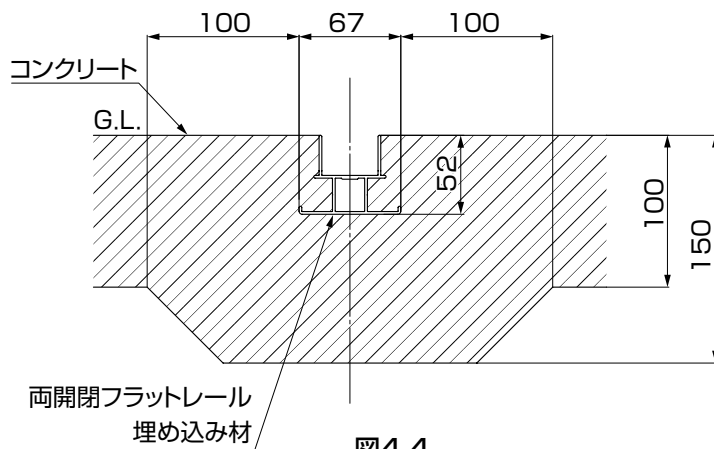


図4-4

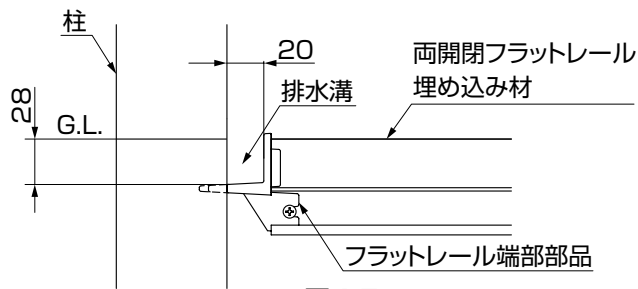


図4-5

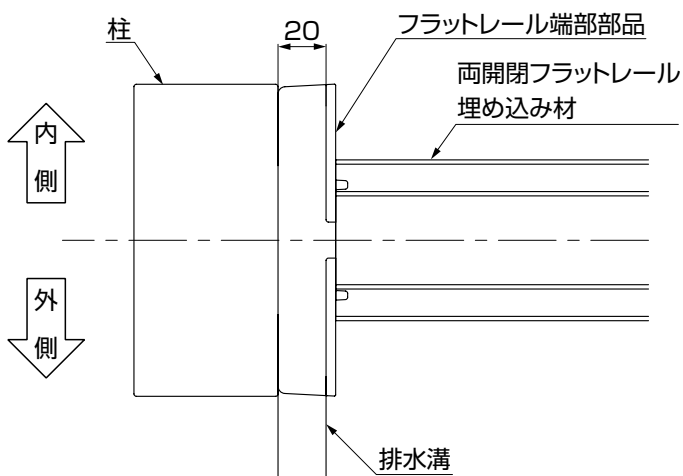


図4-6

③ 図にしたがって、柱との垂直や、GL面との水平等に注意し、両開閉フラットレール埋め込み材を施工してください。  
(図4-3および図4-4参照)

### ポイント

- 柱とフラットレール端部部品の間には排水用の溝を設けてください。  
(図4-5および図4-6参照)
- コンクリート内には、必ず配筋してください。

## 5. 本体の取付け

### ⚠ 注意

- 本体には道路側、家側の表裏があります。落し棒取付加工がある側が、内側になりますので取付けの際は向きに注意してください。

### 5-1 両開閉センターレールタイプの場合

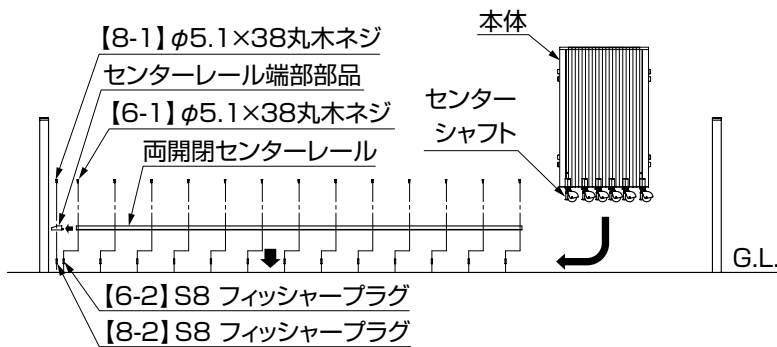


図5-1

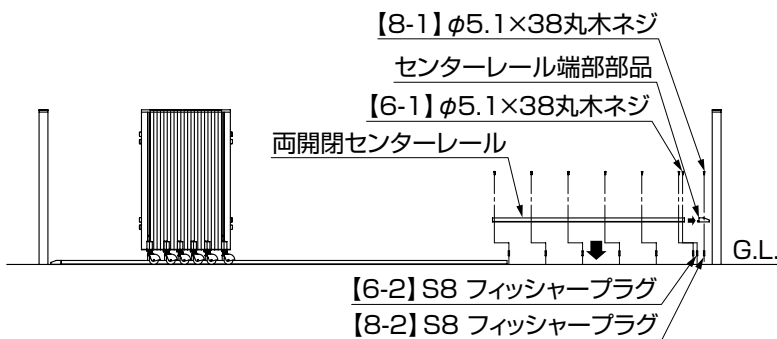


図5-2

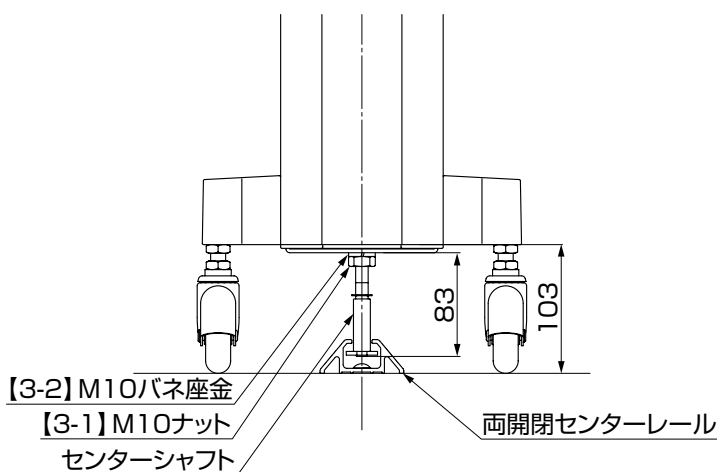


図5-3

- ① 両開閉センターレール、およびセンターレール端部部品の位置を、設置場所に仮置きした状態で確認し、両開閉センターレールおよびセンターレール端部部品の孔に合わせて、地盤に下孔φ8深さ40mm以上の孔をあけてください。
- ② 【6-2】および【8-2】を、下孔に圧入してください。
- ③ 片側のセンターレール端部部品と、2部材の位置の一方の両開閉センターレールを、【6-1】および【8-1】で固定してください。
- ④ 固定した両開閉センターレールに、あらかじめ本体に仮組していたセンターシャフト全てを、高さを調整しながら通してください。
- ⑤ 残ったもう一方の両開閉センターレール、およびセンターレール端部部品を【6-1】および【8-1】で、固定してください。
- ⑥ 本体がスムーズに作動するように、センターシャフトの高さを調整し、【3-1】を締めつけ、完全に固定してください。

## 5. (つづき)

### 5-2 両開閉フラットレールタイプの場合

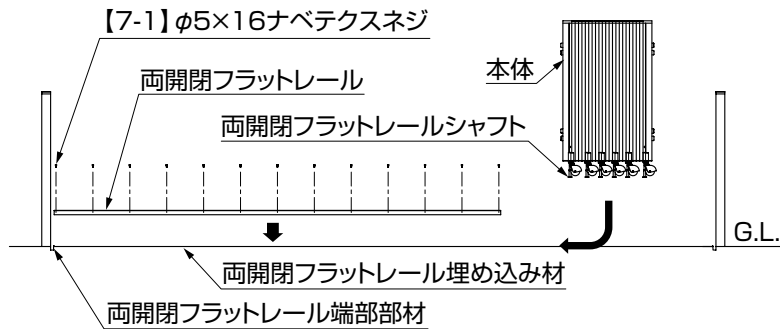


図5-4

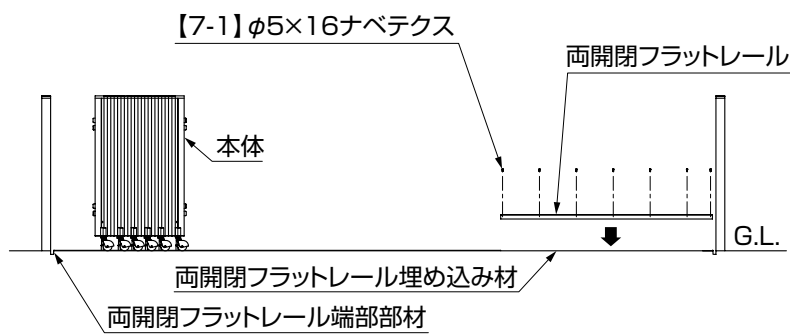


図5-5

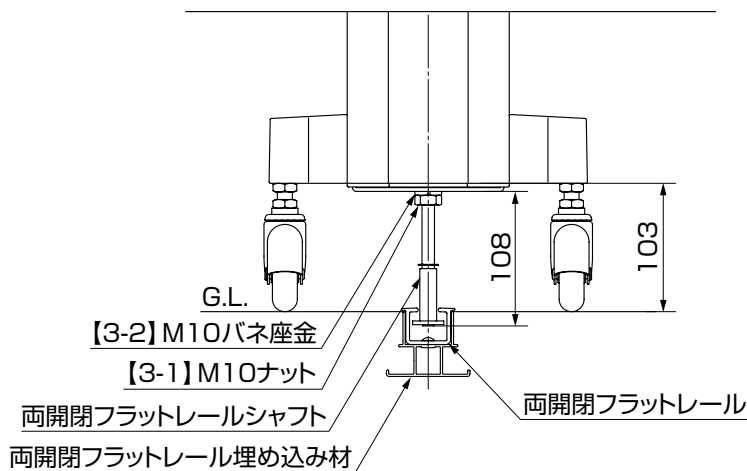


図5-6

#### ポイント

●両開閉フラットレール仕様の本体取付けは、あらかじめ施工しておいた両開閉フラットレール埋め込み材のコンクリートを十分に養生し、完全に硬化したことを確認した後、行なってください。

- ①両開閉フラットレール埋め込み材のレール挿入部分を清掃し、コンクリートやゴミ等がないことを確認してください。
- ②両開閉フラットレール埋め込み材のレール挿入部分に両開閉フラットレールの2部材のうち的一方を、フラットレール端部部材にしっかりと押し付けた状態で、【7-1】で固定してください。
- ③固定した両開閉フラットレールに、あらかじめ本体に仮組していた両開閉フラットレールシャフト全てを、高さを調整しながら通してください。
- ④残ったもう一方の両開閉フラットレールを両開閉フラットレール埋め込み材のレール挿入部分に入れ、【7-1】で固定してください。
- ⑤本体がスムーズに作動するように、両開閉フラットレールシャフトの高さを調整し、【3-1】を締めつけ、完全に固定してください。

## 6. 落し棒と錠の取付け

### 6-1 落し棒の取付け

#### (1) M型・MW型の場合

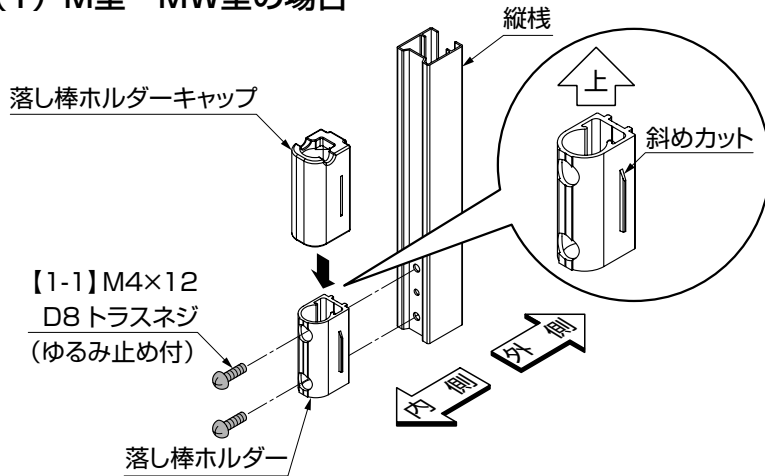


図6-1

①本体の家側の縦棧に、落し棒ホルダーを斜めカットを上にして、【1-1】で固定してください。(図6-1参照)

②落し棒ホルダーキャップを、上からはめ込んでください。(図6-1参照)

#### (2) H型・HW型の場合

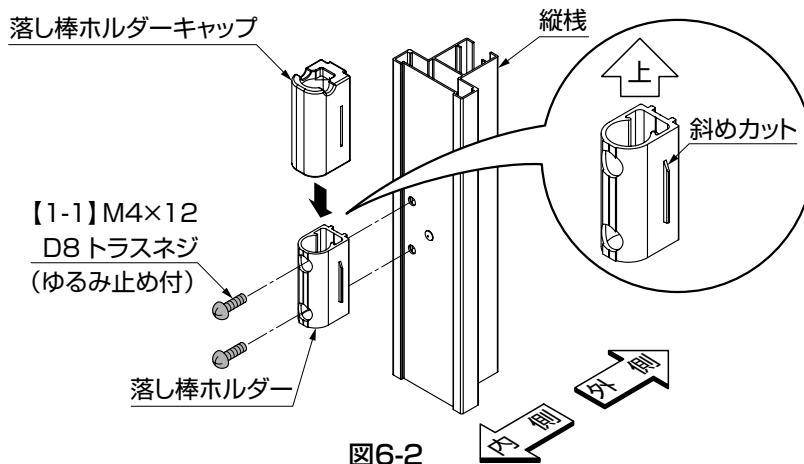


図6-2

①本体の家側の縦棧に、落し棒ホルダーを斜めカットを上にして、【1-1】で固定してください。(図6-2参照)

②落し棒ホルダーキャップを、上からはめ込んでください。(図6-2参照)

#### (3) 落し棒の組付け

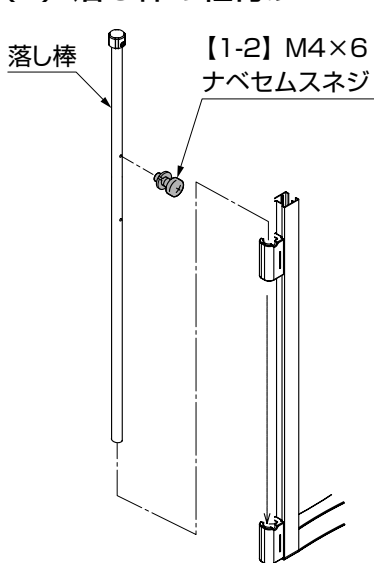


図6-3

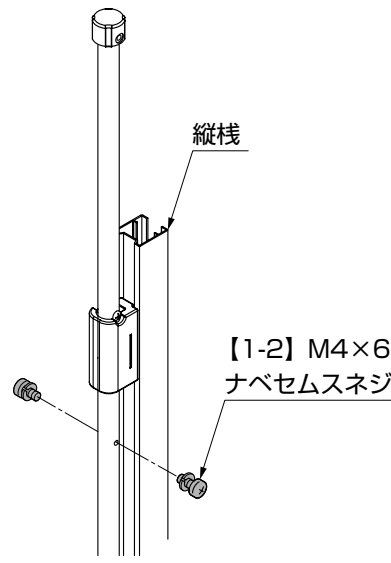


図6-4

①落し棒に【1-2】を組付けてください。(図6-3参照)

②落し棒を落し棒ホルダーに挿入した後、【1-2】を落し棒の両サイドからネジ止めしてください。(図6-4参照)

## 6. (つづき)

### 6-2 鎌錠の取付け

#### (1) 鎌錠ケースの取付け

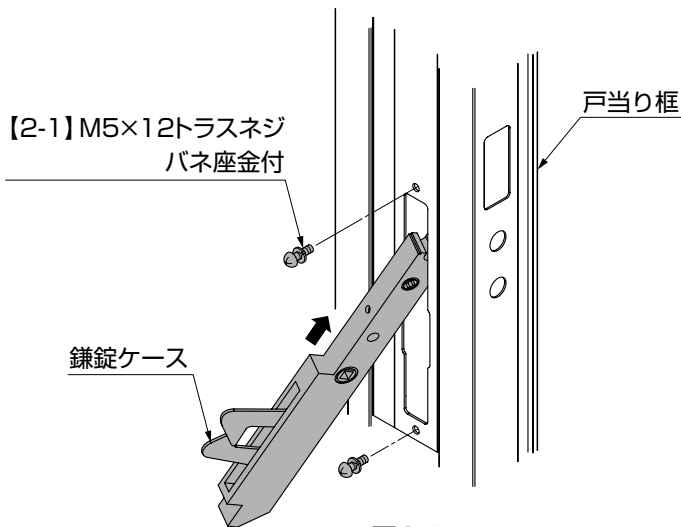


図6-5

- ① 本体両側の框に図のように鎌錠ケースを差込み、矢印のように上に持上げ、ケース部分が框に全て入った後、鎌錠ケースを垂直におろし、【2-1】で固定してください。(図6-5参照)

#### ポイント

- 鎌錠ケース取付け前に、本体の縦桟間隔を100mmくらい拡げてから鎌錠ケースを取付けてください。

#### (2) ハンドルの取付け

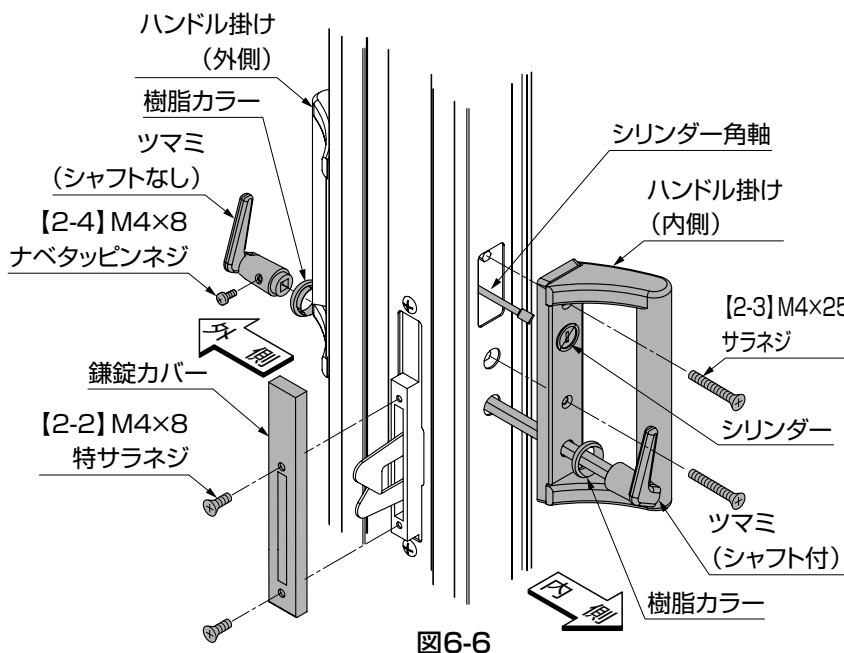


図6-6

- ① ハンドル掛け側(外側)のシャフトを、伸縮門扉本体の道路側より挿入してください。
- ② シリンダー角軸をハンドル掛け側(外側)のシリンダーに挿入してください。
- ③ ハンドル掛け側(内側)をシリンダー角軸に挿入して【2-3】で固定してください。(図6-6参照)
- ④ ツマミ(シャフト付)を、樹脂カラーを中に入れた状態で、挿入してください。(図6-6参照)
- ⑤ ツマミ(シャフトなし)を樹脂カラーをはさみながら挿入し、【2-4】でツマミがハンドル台座に密着するように、しっかり固定してください。(図6-6参照)

#### 注意

- つまみの向きは安全のため必ず図6-6の向きで取付けてください。

#### ポイント

- ハンドルを取付ける時、シリンダーに鍵を差込んだ状態で、取付けないでください。鍵が抜けなくなります。
- ハンドルは、仮組みで出荷しています。【2-3】をはずしてから取付けてください。

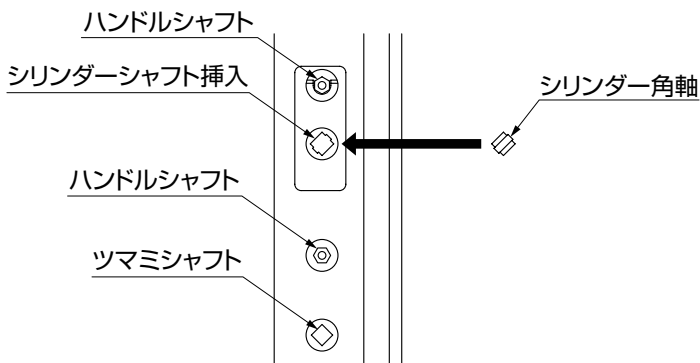


図6-7 シリンダー角軸挿入向き

### (3) シャフトカバーの取付け

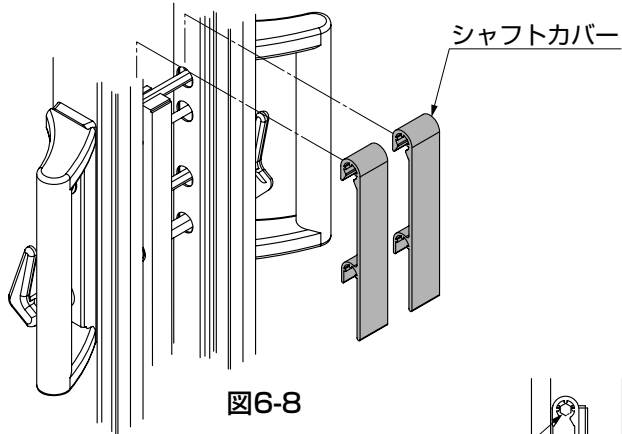


図6-8

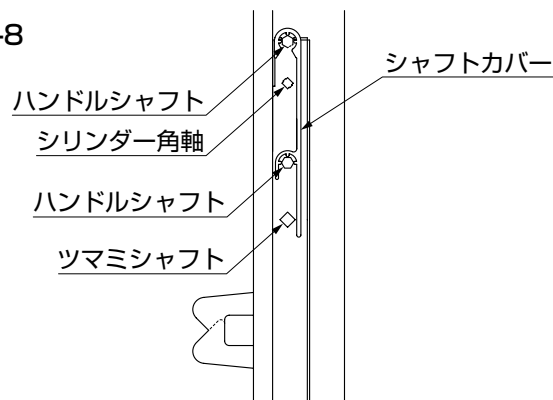


図6-9

①錠を取付けた框の裏側に、シャフトカバーを上からカチッというまで押し込んでください。(図6-9参照)

#### ⚠ 注意

●防犯のため、シャフトカバーは必ず取付けてください。

### (4) 錠受け金具の取付け

【2-1】M5×12トラスネジバネ座金付

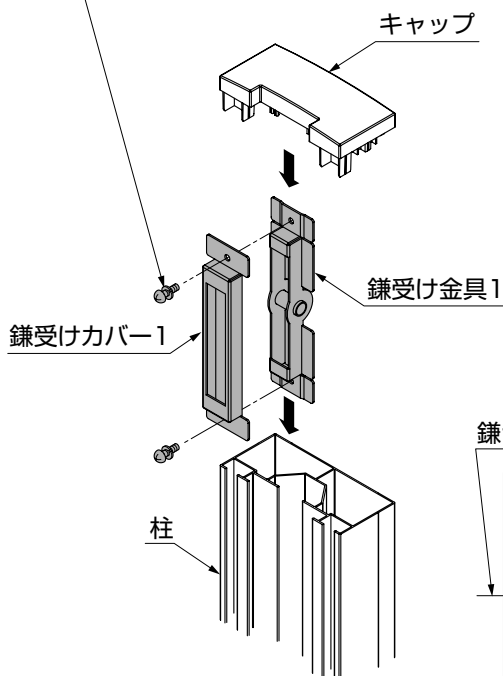


図6-10

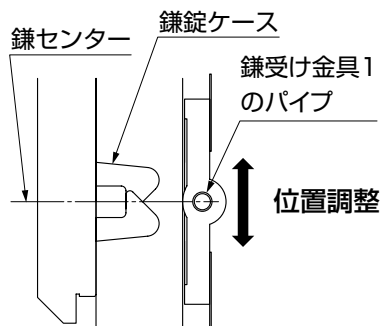


図6-11

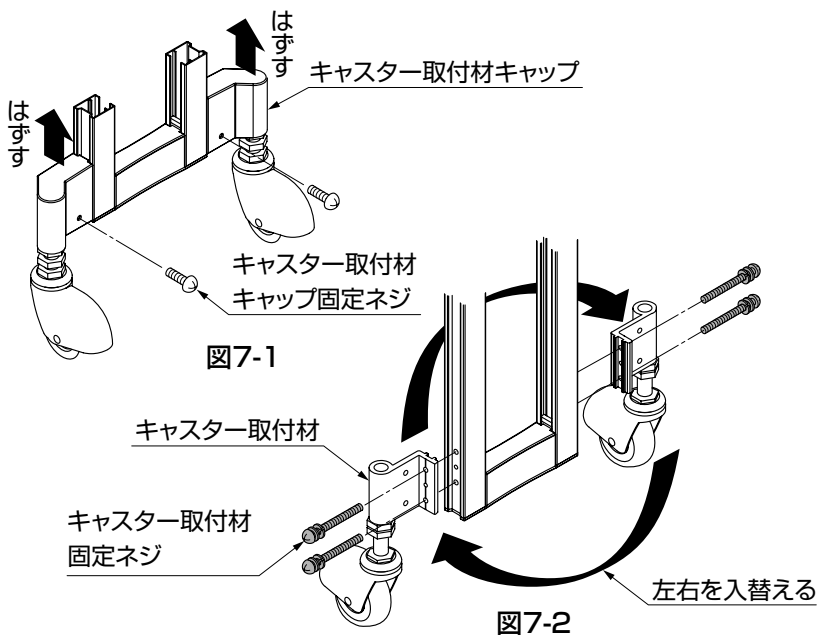
- ①錠受け金具と錠受けカバーを、あらかじめ【2-1】で仮止めして、柱のスリット部分に上部から差込んでください
- ②本体錠の錠センターに位置を合わせながら(図6-11参照)、錠受け金具と錠受けカバーを【2-1】でしっかりと固定してください。(図6-10参照)
- ③キャップを挿入してください。(図6-10参照)

## 7. キャスター取付け方向の変更

### ⚠ 注意

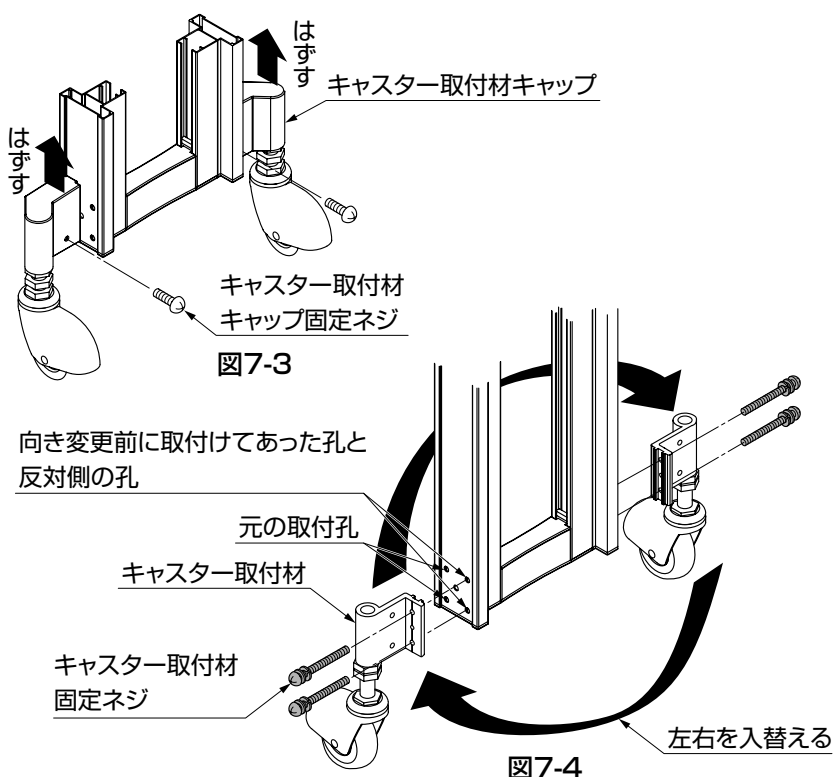
●キャスター取付け方向を変更する場合は、取り付いているキャスター全ての箇所について変更してください。一部の変更では、キャスター同士がぶつかって、本体がきれいにたためなくなることや、キャスターが壊れる原因になります。

### 7-1 M型・MW型の場合



- ①キャスター取付材キャップ固定ネジをはずし、キャスター取付材キャップをはずしてください。
- ②キャスター取付材固定ネジをはずし、キャスター取付材をはずしてください。
- ③左右のキャスター取付材を入れ替えた後、キャスター取付材固定ネジで固定してください。
- ④キャスター取付材キャップを、キャスター取付材固定ネジで固定してください。

### 7-2 H型・HW型の場合



- ①キャスター取付材キャップ固定ネジをはずし、キャスター取付材キャップをはずしてください。
- ②キャスター取付材固定ネジをはずし、キャスター取付材をはずしてください。
- ③左右のキャスター取付材を入れ替え、今までキャスター取付材を取付けていた孔と反対側の孔に、キャスター取付材を、キャスター取付材固定ネジで固定してください。
- ④キャスター取付材キャップを、キャスター取付材固定ネジで固定してください。



## 8. H型・HW型の孔隠しシール貼り付け

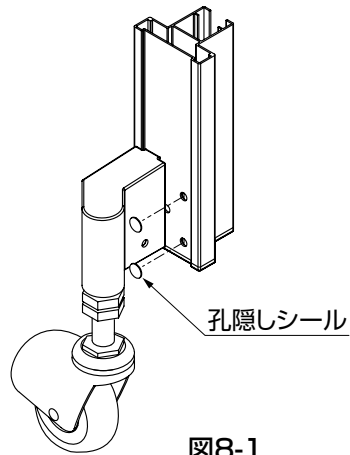


図8-1

- ①キャスト取り付け部にあいている孔を、孔隠しシールでふさいでください。

## 9. 落とし棒受けの施工

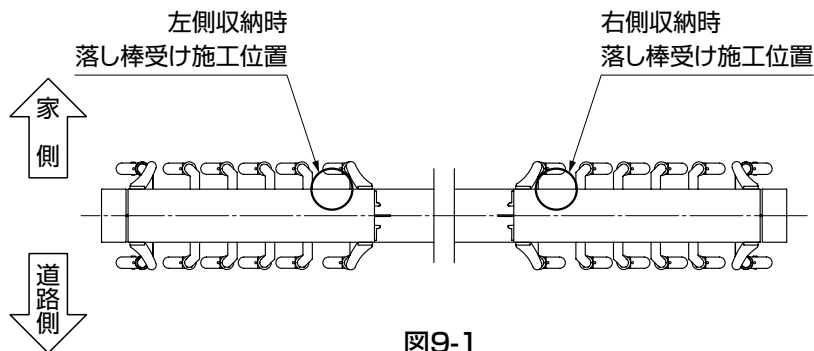


図9-1

### ポイント

- 落とし棒受けは、伸縮本体を左右それぞれたたんだ状態にしたときの、先頭側になる落とし棒の位置に合わせて施工してください。（図9-1参照）

- ①落とし棒受けAをコンクリート基礎部に確実に固定してください。（図9-2参照）

- ②落とし棒受けBを落とし棒受けBに回転しながら挿入してください。（図9-2参照）

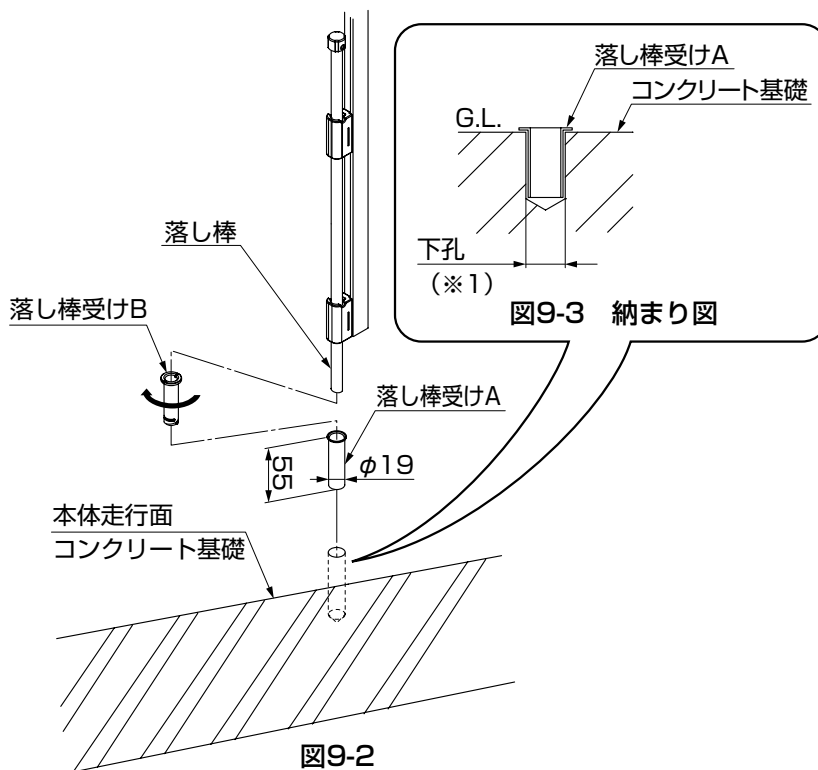


図9-2

## 10. 柱キャップの固定

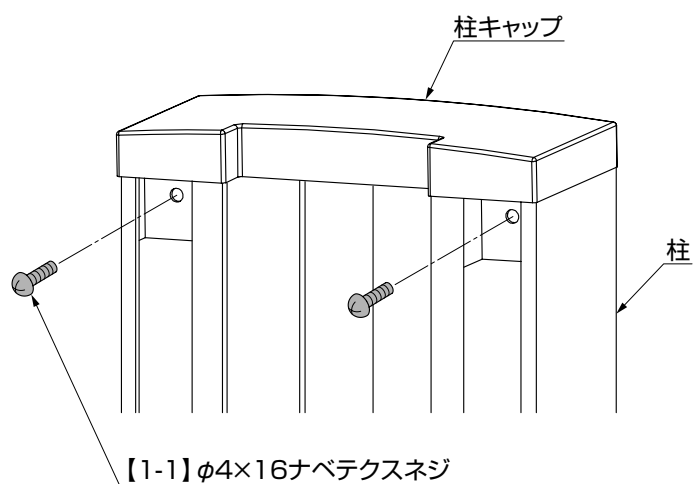


図10-1

- ①「アルシャイン 柱セット」に同梱の【1-1】で、柱に柱キャップを固定してください。

### 補足

- キャップをしっかり挿入し、上から押えながら、【1-1】で、固定してください。

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# INDEX